

# 宮崎支部の課題・支部健康づくり戦略(案)データ

---

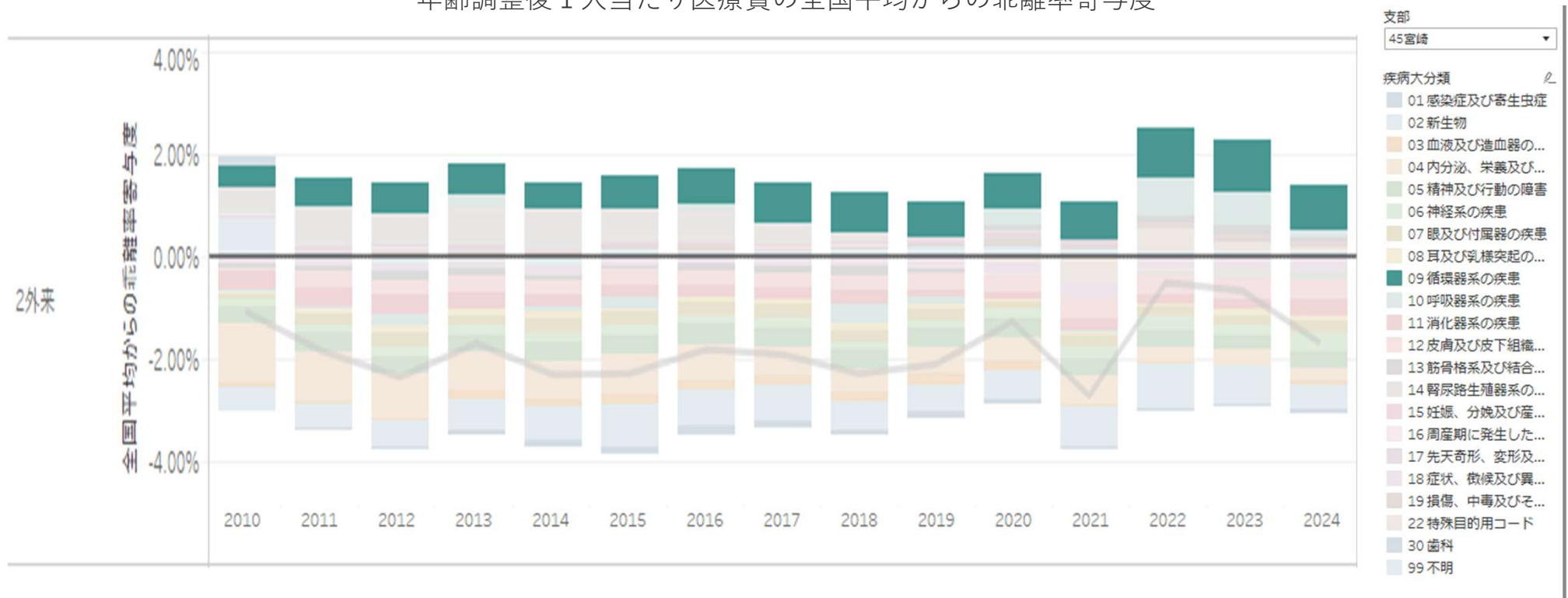


令和 8 年 1 0 月 1 9 日  
全国健康保険協会 宮崎支部

---

# 課題 1 年齢調整後 1 人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度

年齢調整後 1 人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度



○外来における疾病別（大分類）医療費の全国平均からの乖離率寄与度

外来の医療費の乖離率寄与度は低いものの、09循環器系の疾患については比較的高い。

2015年～2024年にかけて、宮崎県において最も外来医療費の寄与度が高い。

2023年度  
09循環器系の疾患：1.02%

2024年度  
09循環器系の疾患：0.89%

## 課題 1 「循環器系の疾患」の疾病中分類 1 人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度

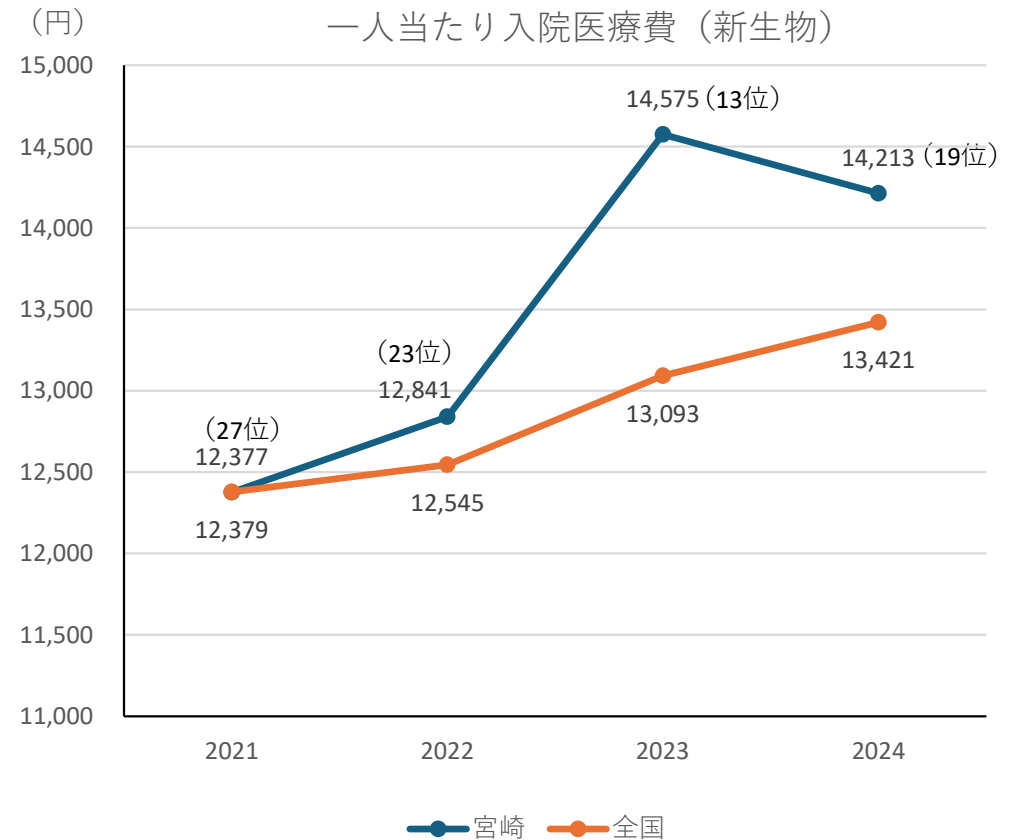
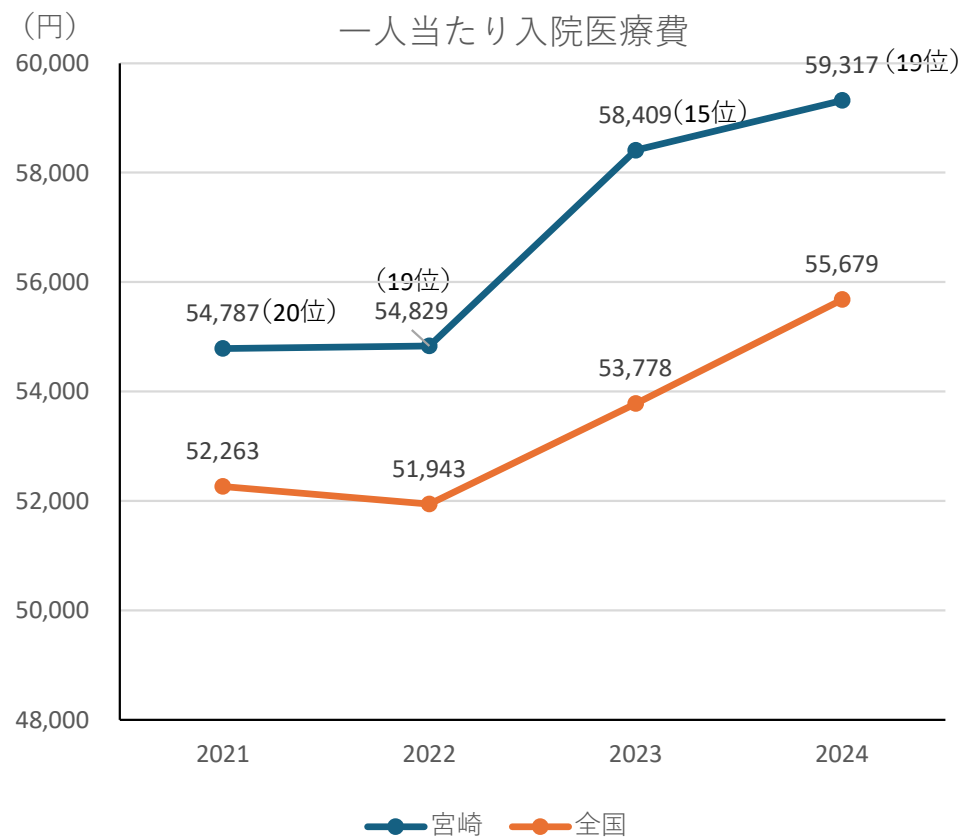
年齢調整後 1 人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度（2024）

（外来）

| 疾病中分類名         | 寄与度    |
|----------------|--------|
| 0901 高血圧性疾患    | 0.86%  |
| 0902 虚血性心疾患    | 0.00%  |
| 0903 他の心疾患     | -0.01% |
| 0904 くも膜下出血    | 0.00%  |
| 0905 脳内出血      | 0.03%  |
| 0906 脳梗塞       | 0.02%  |
| 0907 脳動脈硬化（症）  | 0.00%  |
| 0908 他の脳血管疾患   | -0.01% |
| 0909 動脈硬化（症）   | 0.00%  |
| 0911 低血圧（症）    | -0.01% |
| 0912 他の循環器系の疾患 | 0.00%  |

○「循環器系の疾患」の疾病中分類、年齢調整後 1 人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度は「0901 高血圧性疾患」の寄与度が高い。

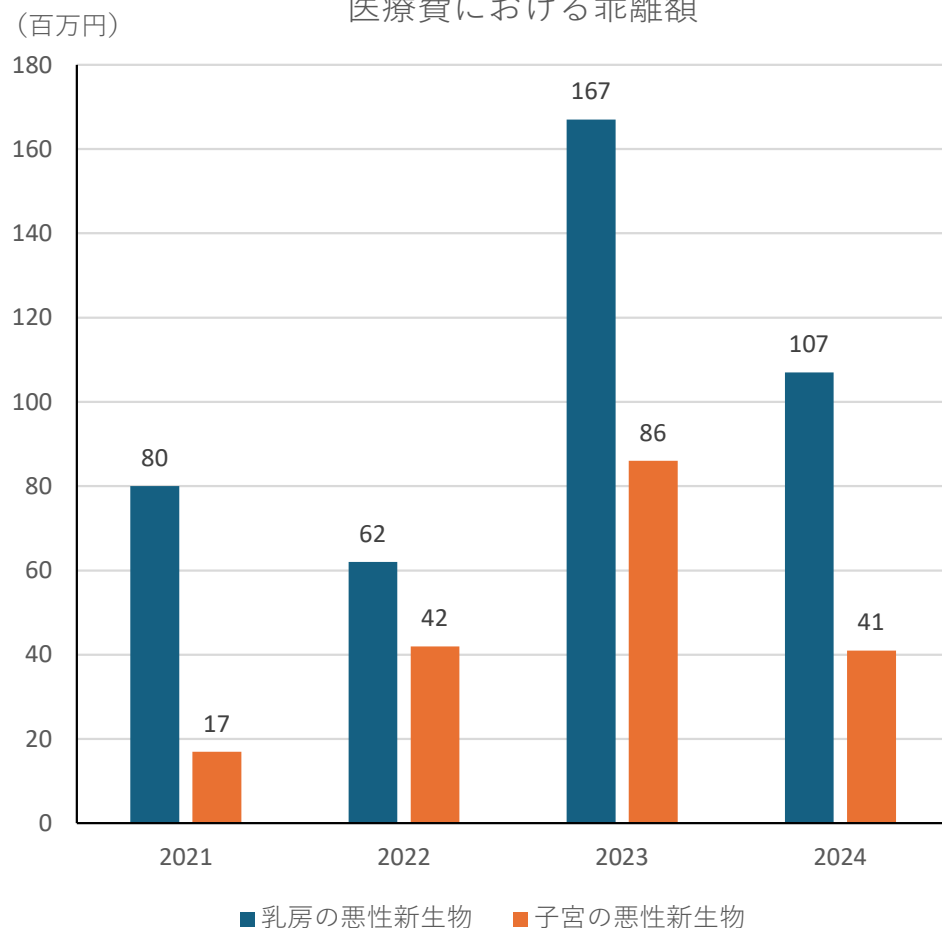
## 課題2 一人当たり入院医療費



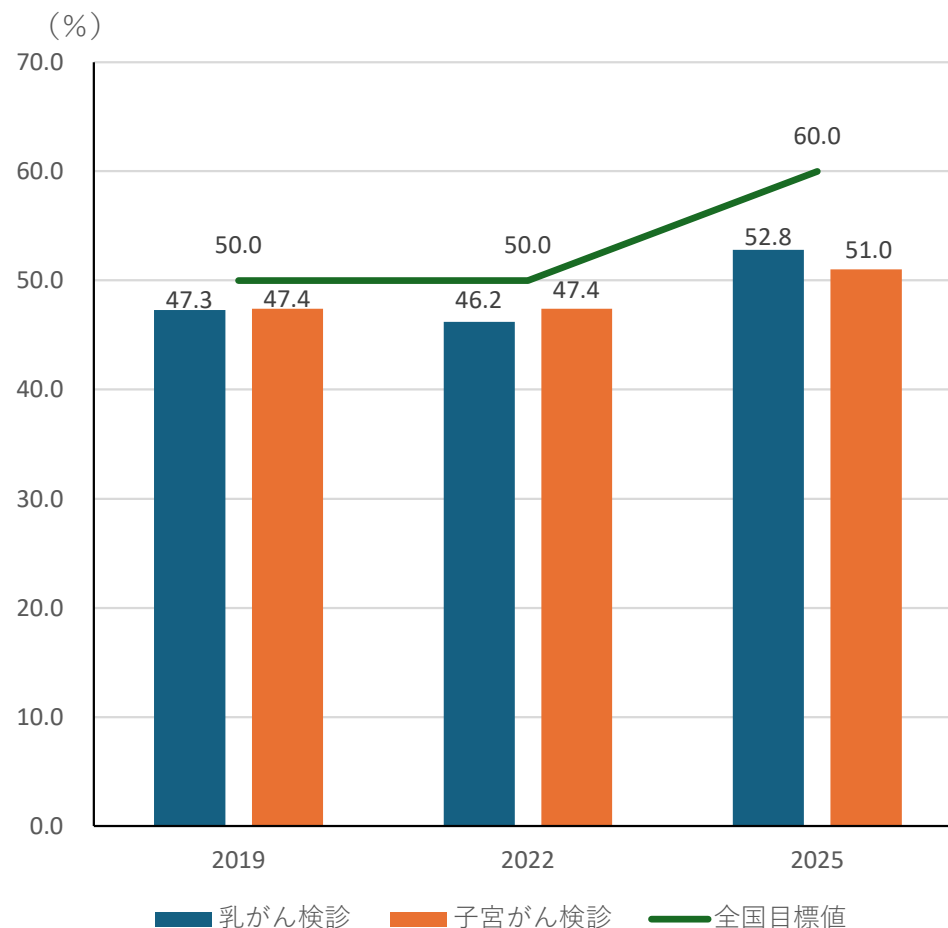
○疾病の中でも新生物が全国平均とのプラス乖離が大きく、宮崎支部の入院医療費を押し上げている要因となっている。

## 課題2 「乳がん・子宮がん」の一人当たり入院医療費及び検診受診率

全国平均から宮崎県の乳がん・子宮がんの  
医療費における乖離額

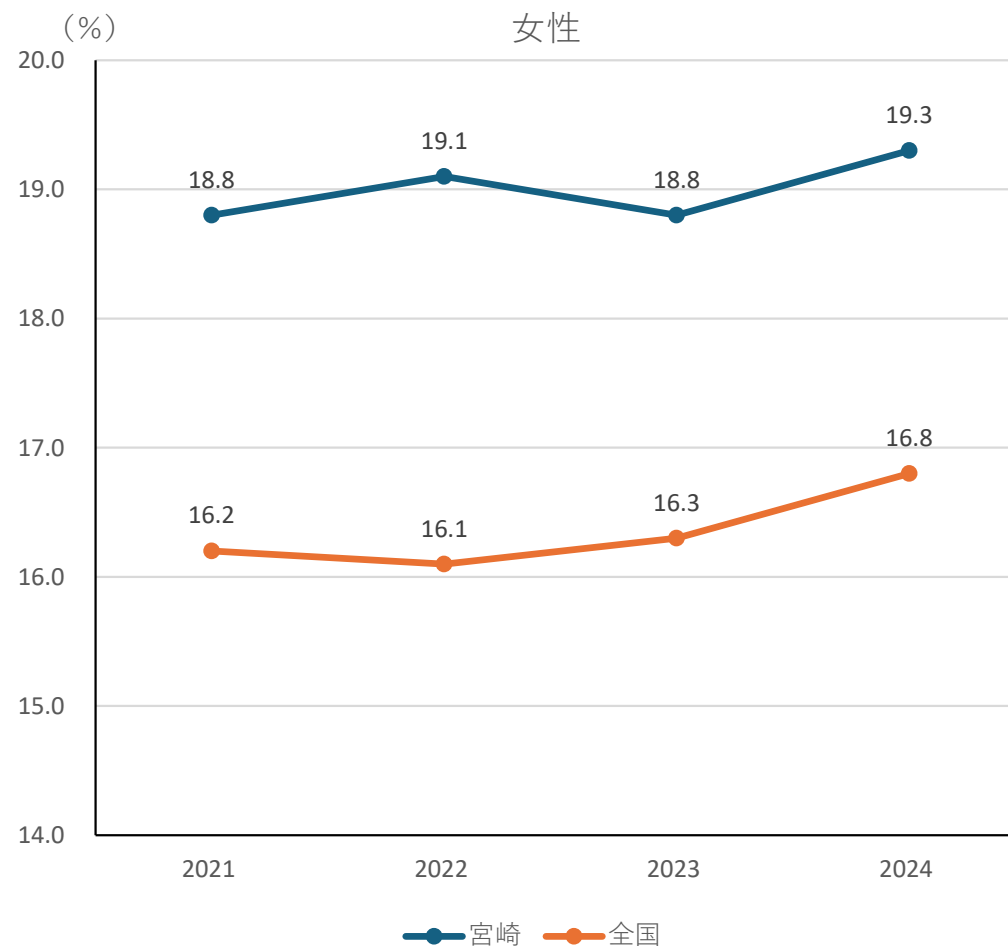
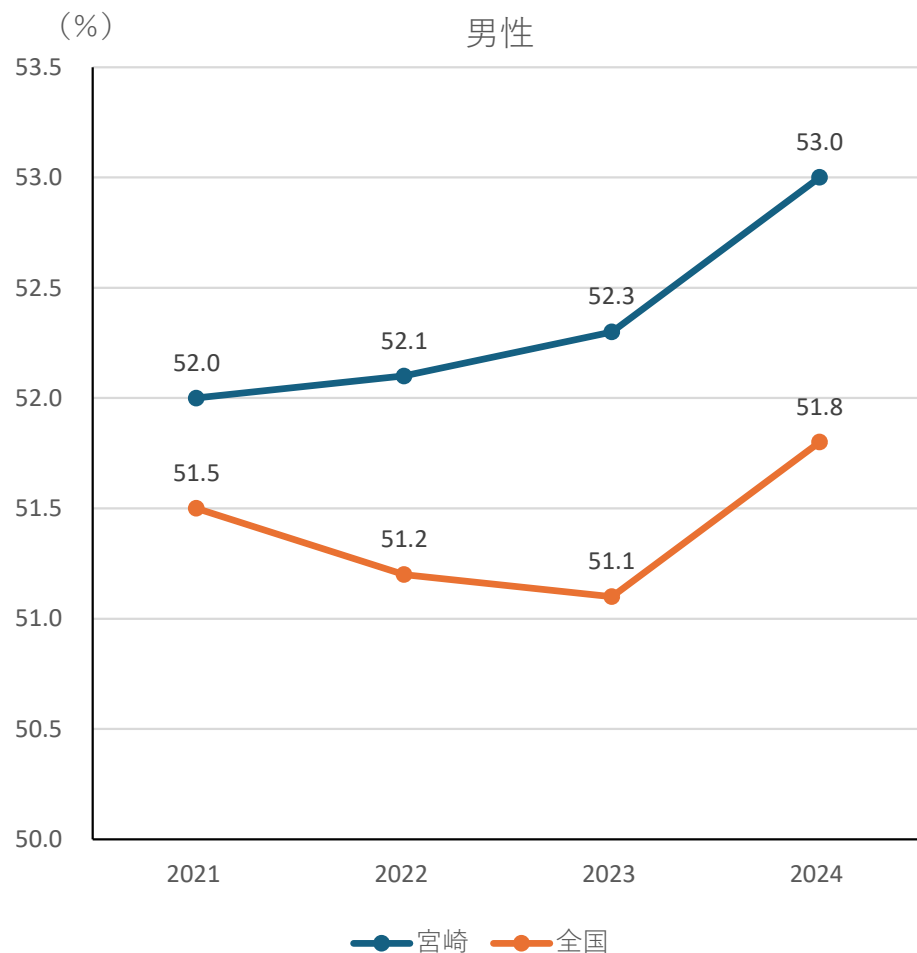


乳がん・子宮がん検診受診率と全国目標値



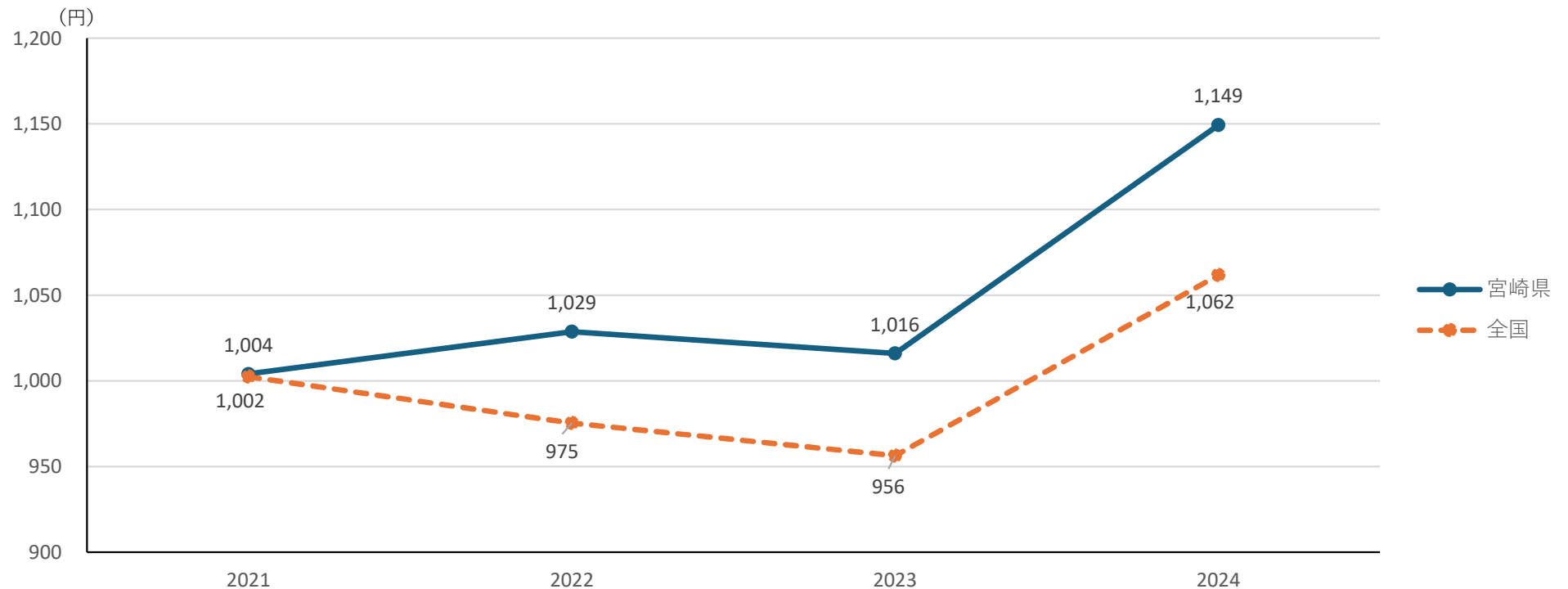
○乳がん・子宮頸がん健診受診率は全国目標を下回っている。重症化（発見期の遅れ）が一つの要因と推測される。  
また、子宮がんの全国における死亡率は、宮崎県がワースト1位または2位で推移している。

### 課題3 支部腹囲リスク



○宮崎支部の腹囲リスクは、男女ともに全国平均を上回る結果となっている。これは、東大大学院のチームがまとめた2023年全国市町村の1日当たりの平均歩数データなどから小林市が最少歩数になるなど、九州南部では歩数が少ない自治体が比較的多かったとされている。このことから、宮崎県は移動手段として自家用車の依存度が高いこと（運動不足）、また濃い味付けや甘めの味付けを好む食文化なども要因として腹囲リスクを上げていると考えられる。

### 課題3 「脳血管疾患」の入院外における全国と宮崎の一人当たり医療費の比較



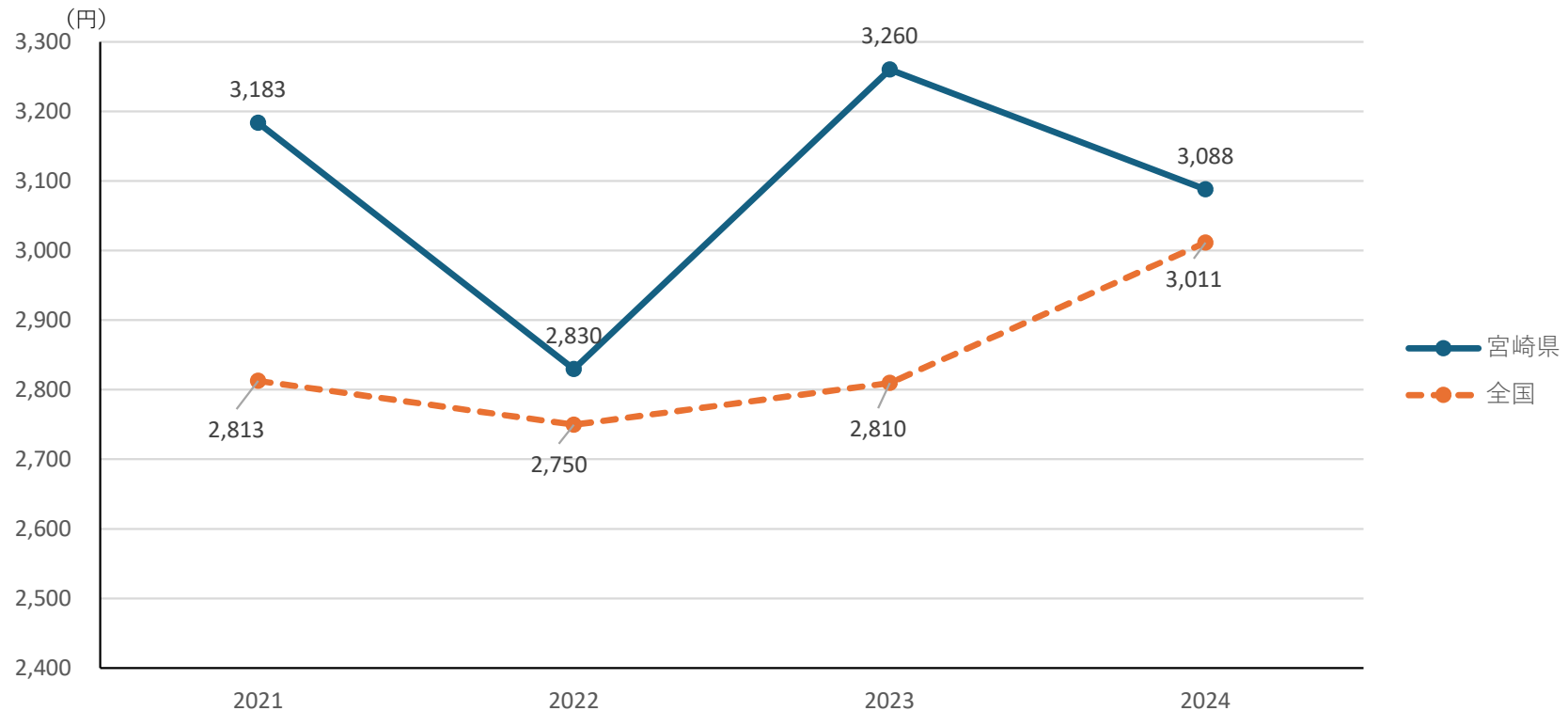
単位：（円）

| 年度 | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 宮崎 | 1,004 | 1,029 | 1,016 | 1,149 |
| 全国 | 1,002 | 975   | 956   | 1,062 |
| 差  | 2     | 53    | 60    | 88    |

※2024年度の年齢構成比で年齢調整を実施

○外来における宮崎県の「脳血管疾患」の1人当たり医療費は全国より高い状況にあり、その差も年々広がっている。

### 課題3 虚血性心疾患に係る年齢調整後一人当たり医療費の推移（宮崎・全国）



各年度における全国と宮崎との診療種別毎の差額

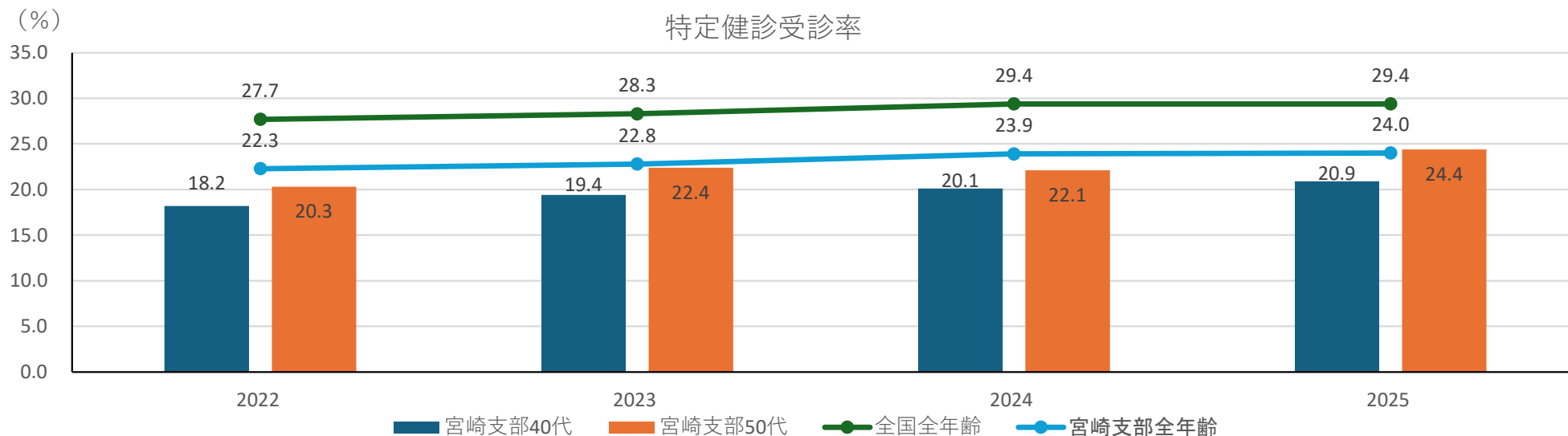
単位：（円）

| 年度  | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----|------|------|------|------|
| 入院  | 428  | 104  | 443  | 72   |
| 入院外 | -57  | -24  | 7    | 4    |

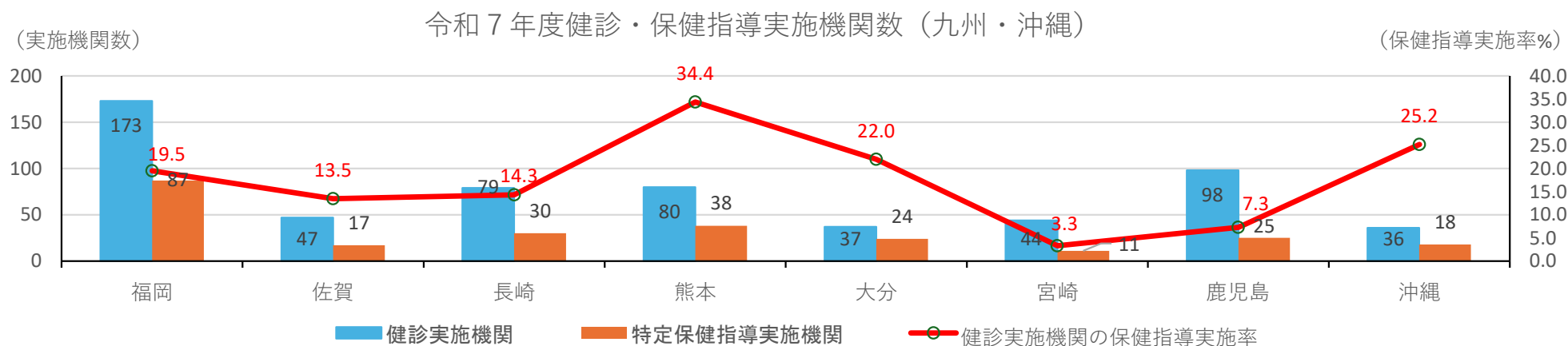
※2024年度の年齢構成比で年齢調整を実施

○入院、外来における宮崎県の「虚血性心疾患」の一人当たり医療費は、年度によりバラつきはあるが、直近では入院・入院外共に、全国に比べて1人当たり医療費が高い状況にある。

## 課題 4 特定健診受診率推移・令和7年度健診・保健指導実施機関数（九州・沖縄）

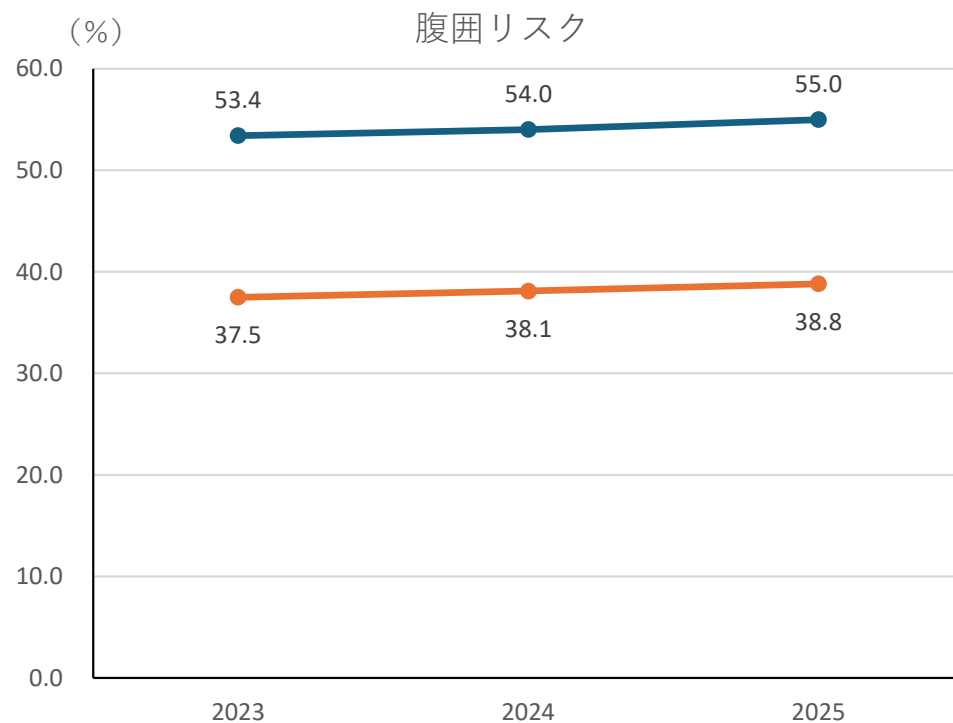


○宮崎県と全国平均との特定健診受診率の差は依然としてある。年度末の受診勧奨にある程度の反応があったことを考えると、まずは集団健診の日程を増やす、特定健診実施機関数の増加など受診環境の充実、周知方法も考える必要性がある。

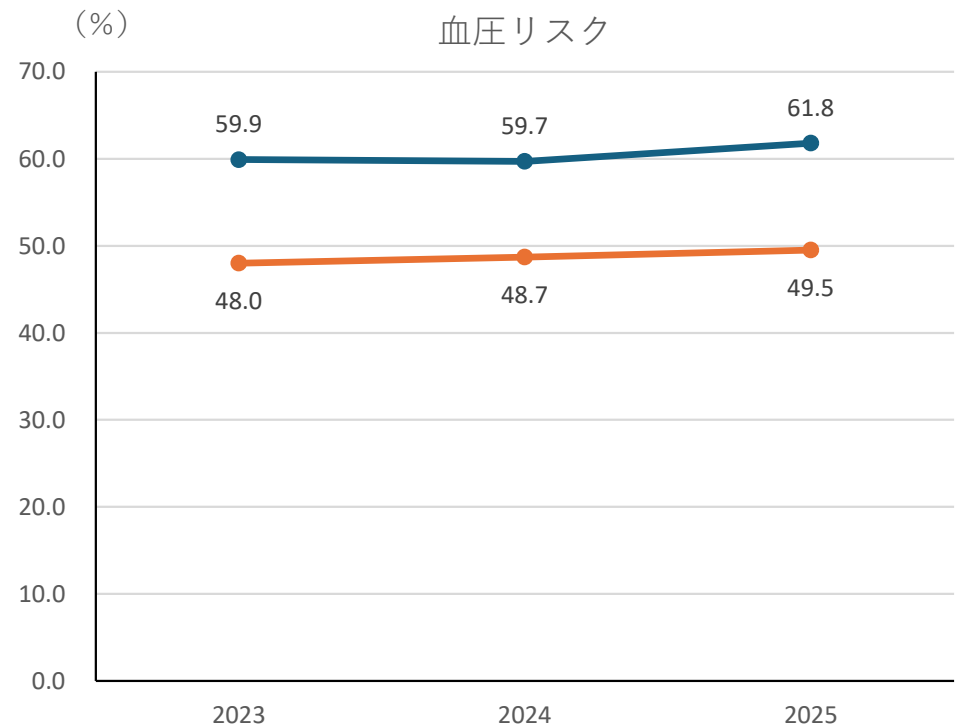


○宮崎支部の特定保健指導実施機関数は九州、沖縄の中でも一番少ない。生活習慣病予防健診当日の保健指導実施者数が少ないため保健指導実施率に影響がある。このことから健診日当日に特定保健指導が実施できる健診機関を拡充する必要がある。

## 課題 5 道路貨物運送業：腹囲・血圧リスク保有率



● 宮崎支部の道路貨物運送業平均 ● 宮崎支部平均

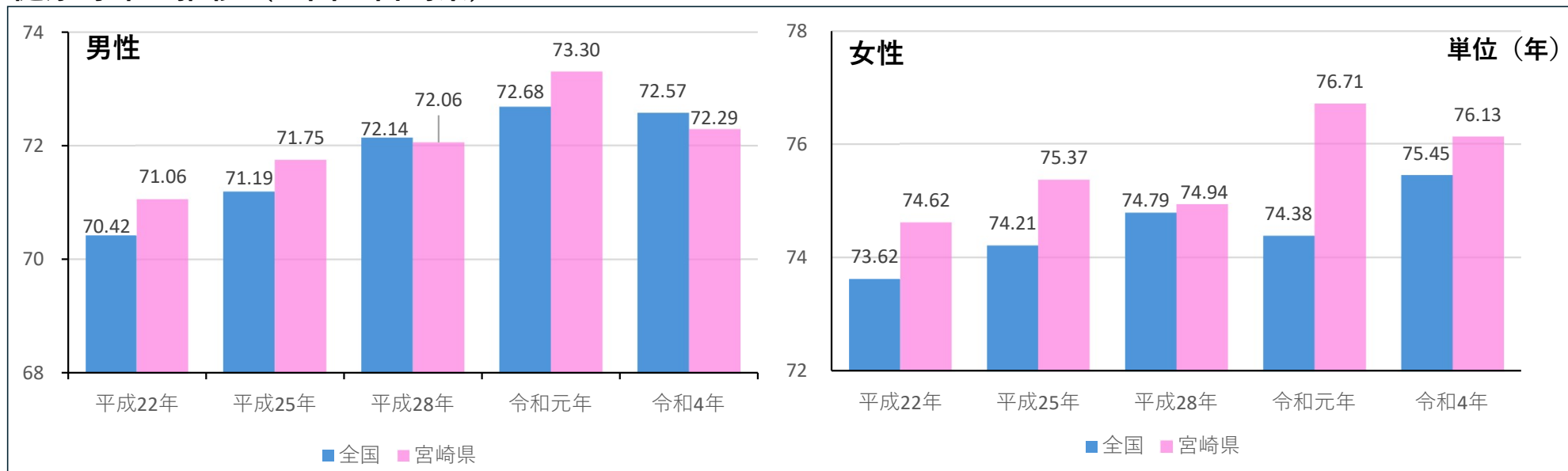


● 宮崎支部の道路貨物運送業平均 ● 宮崎支部平均

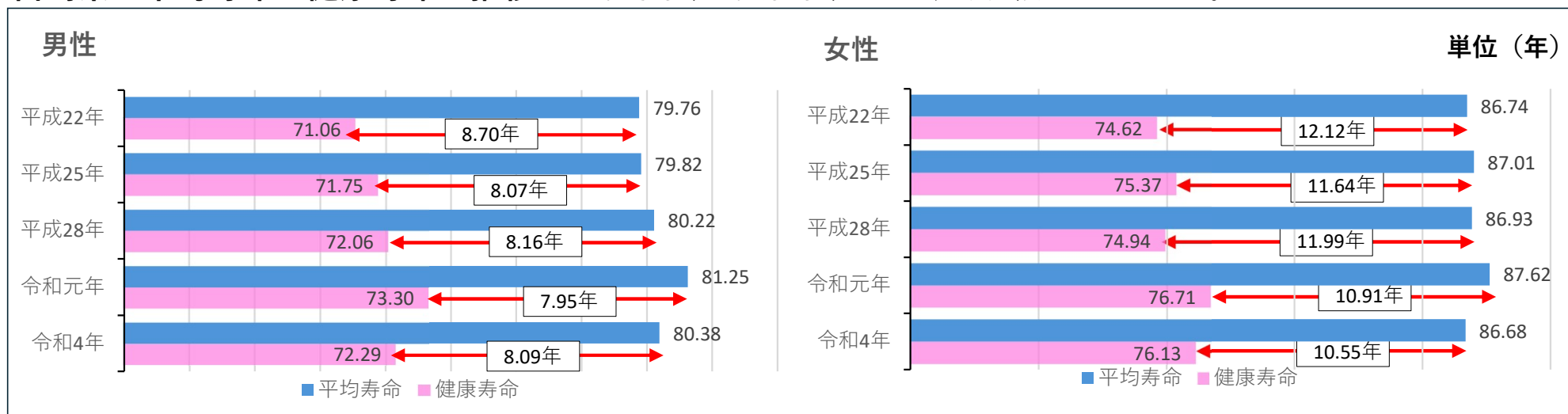
○宮崎支部の道路貨物運送業の腹囲・血圧リスクは、宮崎支部の全業態の腹囲・血圧リスクと比較してかなり高い傾向にある。これは全国の主要消費地から地理的に遠隔地であること、ドライバー不足などの物流事情から運転や待機時間の多さにより、座っている時間が長時間になるなど1日の運動量の少なさ、食生活の偏りと不規則な時間帯での摂取、睡眠不足が考えられる。

# 平均寿命・健康寿命の状況（「健康みやざき行動計画21」より）

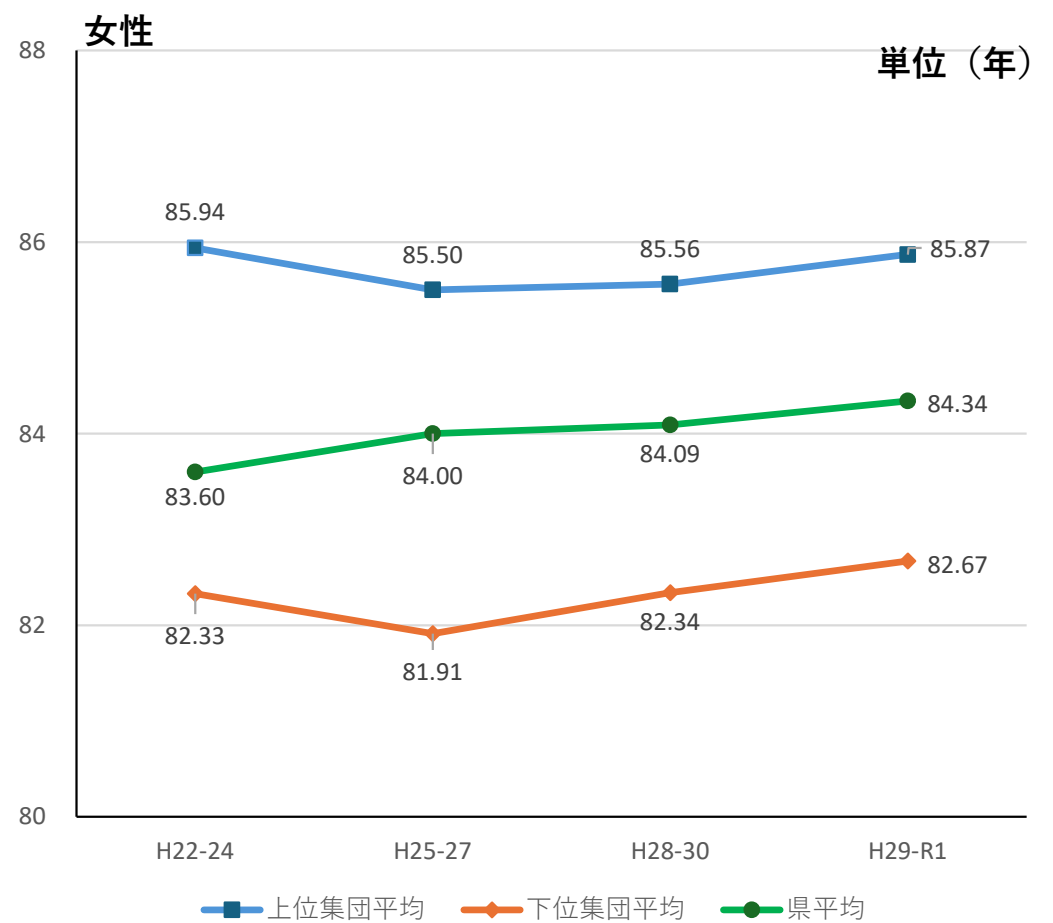
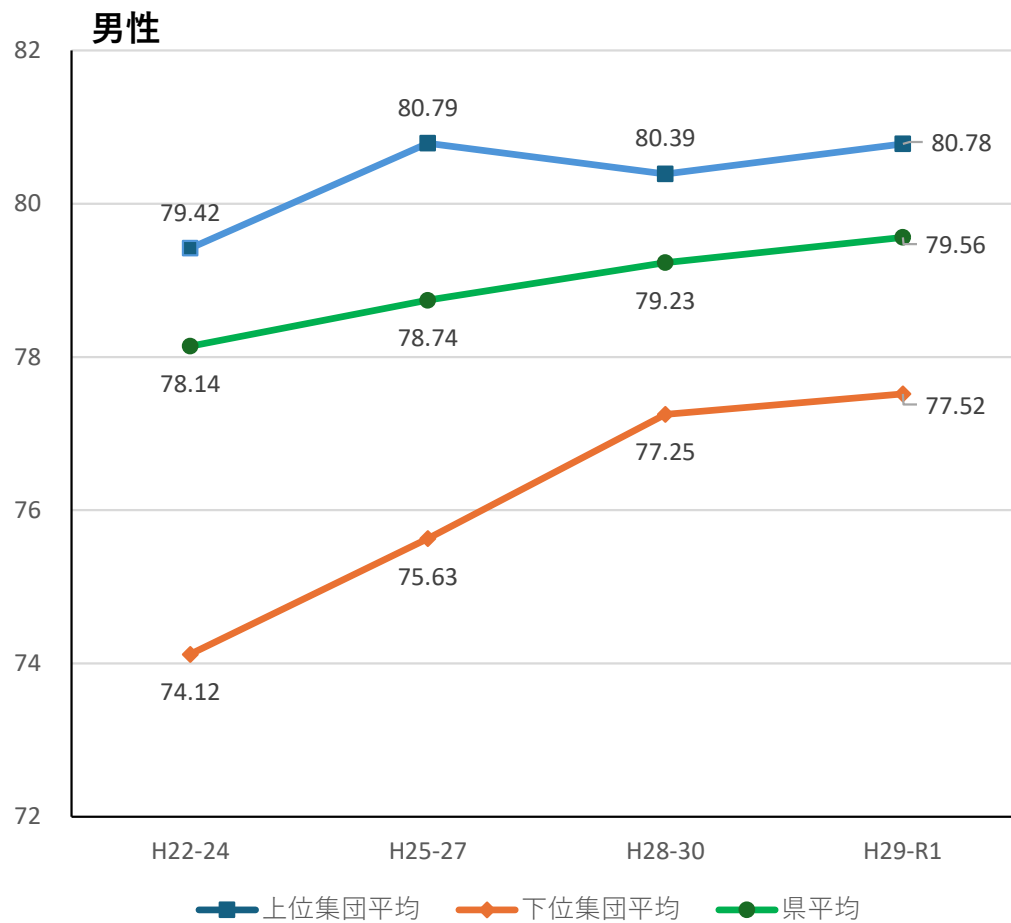
## 健康寿命の推移（全国・宮崎県） ○健康寿命は男女とも全国平均と同様に延伸傾向にある。



## 宮崎県の平均寿命と健康寿命の推移 ○平均寿命と健康寿命の差は、減少傾向がみられる。



# 市町村別健康寿命の推移（「健康みやざき行動計画21」より）



○市町村別健康寿命の上位集団と下位集団の平均の推移をみると、男性の下位集団で伸びが大きくみられる。